

ごみ減量化運動特集（後編）



ごみ減量化運動特集（前編）では、広域負担金、可燃ごみ及びごみの収集・運搬をテーマに特集しました。今月号の後編では、ごみの統計と不燃ごみをテーマに特集をします。ごみに関して榛東村が現在置かれている状況や不燃ごみについて知っていただき、「ごみの減量化運動」と併せてごみ出しのマナー向上に取り組みたいと考えています。

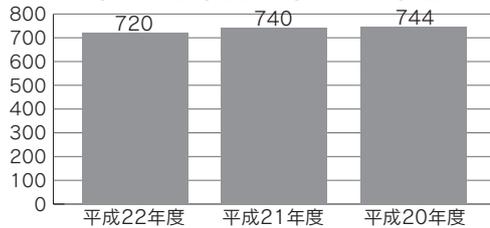
特集① ごみの統計について

ごみの統計とは、環境省により行われた「一般廃棄物処理実態調査」の結果をまとめたものとなっています。

一人あたりのごみ排出量

榛東村の平成二〇年度から平成二二年度までの一人一日あたりのごみ排出量（生活系ごみ）の推移は次の表のようになっており、減少傾向にあります。引き続きごみの減量化にご協力をよろしく願います。

榛東村一人一日あたりのごみ排出量（生活系ごみ）
平成20年度～平成22年度



まず始めに、一人一日あたりのごみ排出量についてですが、平成二二年度の全国一人一日あたりのごみ排出量（生活系ごみ）は、六九七gとなりました。同年度の群馬県一人一日あたりのごみ排出量（生活系ごみ）は、七二〇gとなっており、全国よりは多い量となりましたが、群馬県より少ない量となりました。

また、平成二二年度の群馬県内の市町村別一人一日あたり排出量（生活系ごみ）の状況として、榛東村は県内で九位という結果になっています。一位は板倉町で、一人一日あたりの排出量は四三二gでした。（表①参照）

リサイクル率について

リサイクル率については、平成二二年度の全国のリサイクル率は二〇・八%となりました。同年度の群馬県のリサイクル率は一四・八%となり、群馬県は全国より低い結果となりました。そして、同年度の榛東村の

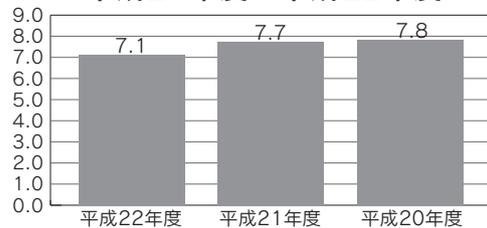
リサイクル率は、七・一%となっており、全国及び群馬県よりもとても低い結果となっています。

一人一日あたりのごみ排出量では、群馬県内で九位と上位になっていましたが、反対にリサイクル率では下位になっていきます。平成二二年度の市町村別リサイクル率の状況として、榛東村は県内で三四位でした。（表②参照）

榛東村の平成二〇年度から平成二二年度までのリサイクル率の推移は次の表のようになっており、減少傾向にあります。一人一日あたりのごみ排出量は減

少しているのに、リサイクル率も減少してしまっています。

榛東村のリサイクル率
平成20年度～平成22年度



県内でもごみ排出量が少ない状況ですので、リサイクル率が上昇すれば、ごみ排出量でもっと上位を狙えるのではないかと思います。より一層のリサイクルにご協力をお願いします。



表① 平成22年度群馬県一人一日あたり排出量の状況（生活系ごみ）

順位	市町村名	1人1日あたり の排出量 (g/人・日)
1	板倉町	432
2	甘楽町	502
3	昭和村	514
4	川場村	520
5	高山村	607
6	明和町	633
7	みなかみ町	648
8	南牧村	706
9	榛東村	720
10	みどり市	733
11	東吾妻町	735
12	下仁田町	737
13	太田市	749
14	神流町	759
15	上野村	799
16	中之条町	800
17	嬬恋村	802
17	前橋市	802
19	高崎市	803
19	吉岡町	803
-	群馬県平均	808
21	邑楽町	810
22	伊勢崎市	811
23	玉村町	824
24	館林市	839
25	沼田市	842
26	桐生市	843
27	安中市	856
28	富岡市	859
29	渋川市	904
30	藤岡市	922
31	片品村	940
32	大泉町	942
33	長野原町	950
34	千代田町	1,075
35	草津町	1,286

表② 平成22年度群馬県リサイクル率の状況

順位	市町村名	リサイクル率 (%)
1	板倉町	65.8
2	みなかみ町	59.9
3	神流町	51.1
4	上野村	33.1
5	明和町	30.4
6	甘楽町	29.1
7	昭和村	24.7
8	館林市	21.0
9	下仁田町	20.4
10	川場村	20.0
11	富岡市	18.3
12	太田市	17.6
13	東吾妻町	17.2
14	南牧村	16.8
15	沼田市	15.9
16	高山村	15.6
17	前橋市	15.1
-	群馬県平均	14.8
18	中之条町	14.7
19	高崎市	14.6
20	玉村町	14.5
21	渋川市	13.8
22	藤岡市	13.6
23	安中市	12.4
24	長野原町	11.4
25	桐生市	10.6
26	伊勢崎市	10.4
27	大泉町	10.0
28	みどり市	9.5
29	嬬恋村	9.3
30	片品村	9.2
31	千代田町	8.7
32	吉岡町	8.6
33	邑楽町	8.4
34	榛東村	7.1
35	草津町	7.0

特集② 不燃ごみの減量化のポイント

ごみ減量化運動特集(後編)では、不燃ごみの清掃センターでの処理の流れと減量化のポイントなどについて特集します。

不燃ごみ処理の流れ

まず不燃ごみの処理の流れについてですが、榛東村より排出された不燃ごみは、清掃センターにおいて処理されています。

清掃センターに運ばれた陶器やガラスなどの不燃ごみは、不燃ピットに投入された後に、クレーンでダンピングボックスに載せ、ガスボンベや肉厚金属等の処理できない物が入っていないか確認した後に、回転式破砕機にかけ細かくし、磁石や風の力、振動を使って、鉄、アルミニウム、可燃物及びガレキ等の四種類に分別されます。鉄、アルミニウムはリサイクルされ、可燃物は可燃ピットに搬入され焼却処分、ガレキ等は処分場へ搬出され埋立処分されています。



スチール缶・アルミ缶について

不燃ごみで出されたスチール缶・アルミ缶は、清掃センターにおいて様々な不燃ごみと混ぜられてから破砕機に投入されます。その後、スチール缶は磁選機により、アルミ缶はアルミ選別機により選別され、プレス機で固めリサイクル業者に搬出されています。



スチール缶・アルミ缶を分別し、資源ごみストックハウスや育成会などによる集団回収を利用することにより、清掃センターでの破砕、選別に費やすエネルギーの節約や榛東村のごみ減量に繋がります。

ビン類について

不燃ごみとして捨てられたビン類は、アルミ缶やスチール缶と異なり選別できないため、ガレキ等に分別され最終処分場で埋立処分されてしまいます。

ビン類を、無色ビン、茶色ビン、その他ビンに分別し、清掃センターに搬出すれば、作業員によりキャップや異物を取り除かれリサイクル業者に搬出されます。

ビン類をしつかり分別し、村で決まっている資源ごみの収集日、資源ごみストックハウスまたは育成会などによる集団回収等を利用することにより、ごみの減量や貴重な資源のリサイクル、最終処分場の有効活用に繋がります。



不燃ごみに関するお願い

不燃ごみを出すときに次のことにご協力ください。

- ◆アルミ缶・スチール缶・ビン類等の資源ごみの分別にご協力ください。
 - ◆清掃センターでは、ガスボンベ、タイヤ、農機具、バッテリー、消火器等処理できないものがあります。(榛東村ごみ搬出辞典をご覧ください。)
 - ◆家電リサイクル法により、次の家電は回収を行いません。
 - ①エアコン、室外機含む
 - ②ブラウン管、液晶、プラズマテレビ
 - ③冷蔵庫、冷凍庫
 - ④洗濯機、衣類乾燥機
 - ◆資源有効利用促進法により、パソコン、ディスプレイの回収を行いません。処理については電気店や家電量販店に問い合わせください。
 - ◆資源有効利用促進法により、パソコン、ディスプレイの回収を行いません。処理については、製造メーカーホームページやコールセンターにお問い合わせください。
 - ◆不燃ごみ専用の袋に入りきらない不燃物は、粗大ごみの日をご利用ください。
- 以上となりますが、ご協力をよろしく願います。

ストックハウス 利用者の声

◆1区女性

非常に助かって毎週利用しています。今後も継続していきたいです。

◆4区女性

毎週土日に利用できるのも、とても助かっています。リサイクルに対する意識も家族間で高まり良かったです。

◆9区女性

毎週土日にストックハウスを利用できるのでとても便利です。これからも続けてもらえれば嬉しいです。

◆21区男性

とても便利で助かります。

◆13区男性

ペットボトルが貯まる度にそろそろ出そうかと楽しみになってきました。

『資源ごみストックハウス』は、平成二三年六月から開始しましたが、始まった当初は一〇人ぐらいの方に利用いただいていた状況でした。最近では、三〇〜四〇人ぐらいの方に定期的に利用いただいています。今後もリサイクルにご協力をお願いします。

不燃ごみとして捨てられているごみの中には、リサイクルできるものが含まれています。リサイクルすることにより、限りある資源の有効活用やごみの減量化に繋がります。不燃ごみの減量化に是非ご協力をお願いいたします。

